

JIS

内燃機関—小径ピストンリング— 第11部：オイルコントロールリング

JIS B 8032-11 : 1998

(2004 確認)

(2008 確認)

平成 10 年 12 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 10.12.20

官報公示：平成 10.12.21

原案作成協力者：社団法人 陸用内燃機関協会

審議部会：日本工業標準調査会 一般機械部会（部会長 岡村 弘之）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。これによってJIS B 8032-1993 (ピストンリング通則) は廃止され、JIS B 8032-1~13 : 1998 (内燃機関—小径ピストンリング—)、JIS B 8037-1~8 : 1998 (内燃機関—大径ピストンリング—) 及びJIS B 8038 : 1998 (往復動油圧シリンダ用ピストンリング) によって置き換えられる。

今回の制定では、国際規格との整合を図ることに重点を置き、対応国際規格の規定内容をすべて採用し、さらに、JISとして必要な規定内容を追加した。また、JIS Z 8301 (規格票の様式) が1996年7月に改正されたのに伴い、それに従って規格票の様式も変更した。

JIS B 8032は、次に示す13部によって構成され、これらに“内燃機関—小径ピストンリング—”という共通の規格名称を用いた。

JIS B 8032 内燃機関—小径ピストンリング—

- 第1部：用語
- 第2部：測定方法
- 第3部：材料
- 第4部：仕様の一般規定
- 第5部：要求品質
- 第6部：レクタングュラリング
- 第7部：薄幅レクタングュラリング
- 第8部：スクレーパリング
- 第9部：キーストンリング
- 第10部：ハーフキーストンリング
- 第11部：オイルコントロールリング
- 第12部：コイルエキスパンダ付きオイルコントロールリング
- 第13部：スチール組合せオイルコントロールリング

JIS B 8037は、次に示す8部によって構成され、これらに“内燃機関—大径ピストンリング—”という共通の規格名称を用いた。

JIS B 8037 内燃機関—大径ピストンリング—

- 第1部：用語
- 第2部：測定方法
- 第3部：材料
- 第4部：仕様の一般規定
- 第5部：要求品質
- 第6部：レクタングュラリング
- 第7部：オイルコントロールリング
- 第8部：コイルエキスパンダ付きオイルコントロールリング

JIS B 8038は、“往復動油圧シリンダ用ピストンリング”という規格名称を用いた。

白 紙

内燃機関—小径ピストンリング— B 8032-11 : 1998

第11部：オイルコントロールリング

Internal combustion engines—Small diameter piston rings— Part 11 : Oil control rings

序文 この規格は、1986年に第1版として発行されたISO 6625, Internal combustion engines—Piston rings—Oil control ringsを元に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で、点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、往復動内燃機関に使用する呼び径200 mm以下のピストンリング（以下、リングという。）のオイルコントロールリングのタイプの基本的寸法及び特性について規定する。

なお、この規格は、類似した状態で作動する圧縮機用リングなどに適用してもよい。

備考 対応する国際規格を次に示す。

ISO 6625 : 1986, Internal combustion engines—Piston rings—Oil control rings

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 8032-3 内燃機関—小径ピストンリング—第3部：材料

備考 ISO 6621-3 : 1983, Internal combustion engines—Piston rings—Part 3 : Material specificationsからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 8032-4 内燃機関—小径ピストンリング—第4部：仕様の一般規定

備考 ISO 6621-4 : 1988, Internal combustion engines—Piston rings—Part 4 : General specificationsからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

3. 種類 リングの厚さ (a_1) は、内燃機関の作動条件にリングを適合させるため、次の2種類を規定する。また、現在インチ単位で使用されている特殊な幅寸法として $h_1=4.75$ mm (3/16 in) 用も種類の中に規定し、次に示す。

なお、コードの“MPG”の選択されたリングの場合は、リングの呼び方にこのコードを明示する。

厚さ a_1	幅 h_1	コード	適用する寸法表	主な用途(参考)
標準	—	—	表5, 表6	一般機械用, 自動車用, 船用
“ $d_1/24 \sim d_1/28$ ”	—	MPG	表8, 表9	一般機械用
標準	“ $h_1=4.75$ mm (3/16 in) 用”	—	表7	一般機械用, 自動車用, 船用